



2023年8月 診療カレンダー

住所:東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

2023年9月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

熱中症に
注意してください

夏期休暇を
いただきます

ホームページ
院長ブログ公開中

18時最終受付

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

「今月の言葉」
忘れられない人がいる どうしても会いたくて
またここへ来る 思い出の場所へ
～ 緑の街(小田和正)～

一般診療	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	●	●	●	●	●	●	×
15:30-19:00	×	●	●	●	●	×	×

お知らせ

- ・発熱、風邪症状の方はお電話で予約受診してください
- ・夏季休暇 8/17(木)～8/24(木)
- ・サイネージ始めました

病気や検査の説明をテレビ画面で放映しています。
奥の待合室のモニターをご覧ください。

- ・オーケストラ(9/3)に出演します。チケット希望の方はお気軽にお声がけください

札幌へ行ってきました

猛暑が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？先月、週末を利用して札幌を訪れました。学会や研究会ついでというわけではなく、完全にプライベート目的、友人たちに会うためです。

50歳を過ぎるとイベントなどで友人と会う機会も減り、とくにここ数年はコロナのために遠出をすることもなくなってしまいました。北大の学生時代の仲間は今でも北海道に多くおり、自分から積極的に出かけていかなければ、彼らに会うことはなかなか難しいのです。コロナもようやく5類になったということで、今回思い切って週末を利用して一人で行くことにしました。土曜日の診療を終えて、急いで羽田空港から札幌へ向かい、翌日の夜に帰宅の便に乗るという強行日程でした。

久しぶりの羽田空港は活気に溢れ、飛行機は満席で旅行の需要は完全に回復しているようでした。札幌に到着したのは夕方6時頃。あいにくの曇り空ということもありましたが、東京は連日30度を超える猛暑の一方で、札幌は長袖が必要なくらいの肌寒さでした。

土曜日の夜は医学部の友人二人と食事をしました。当時我々医学部生は4年生になると自主的に5人前後のグループを作り、国家試験の勉強を始めることが多く、今回再会した二人はその「勉強会」のメンバーで週に2、3日は集まって一緒に勉強した仲です。一人とは20年ぶりくらいの再会でしたが、学生時代、切磋琢磨しながら過ごした仲間とはそのような年月の経過を全く感ずず、思い出話に花が咲きました。彼らは二人とも大病院の要職で勤務医として頑張っており、同じ病院の他の科に同級生がいるため、お互いに連携をとりながら診療していることや、北海道にいる同級生の消息など、興味深い話も多く聞くことができました。

この年になると、やはり親の病気(介護)と自分の身体のこととも話題に上りました。彼らは二人とも病気のため手術を受けておりましたが、今ではすっかり元気になっているようで、近いうちの再会を約束しました。二人とも私が宿泊しているホテルまで一緒に歩いて見送りに？来てくれました。3人で歩いた札幌の夜道、何だか涙が出るほど嬉しかったです。

翌日は札幌観光？ということで、母校の北大のキャンパスを散策したり、部室を訪ねたり、北大資料館を訪れたり、お上りさん？のようですが札幌時計台を見て、大好物のみそラーメンを食べました。また、午後からは劇団四季の「リトル・マーメイド」の公演も観てきました。家族からは札幌行ってまで、なんで劇団四季なの？と言われましたが、劇団四季の人気ミュージカルは東京ではなかなかチケットが取れないんですよ。たまたま調べてみたら残り僅かながらチケットが発売されており、喜んで観劇してきました。劇場は満席で家族連れが多く、休憩時には子供たちが劇中の「パート・オブ・ユア・ワールド」などを楽しそうに口ずさんでいたりして、何とも幸せな気分になりました。ミュージカルは久しぶりに観ましたが、舞台装置は見事ですし、役者さんたちは歌も踊りも本当にプロフェッショナルで、やはり生のミュージカルは最高だなあと感激しました。

劇団四季のあと、夕方からは学生時代のオーケストラの仲間たちが集まってくれて、みんなで語り合いました。中には卒業以来約30年ぶりに再会した仲間もいましたが、あまり変わりなく、私も含め、みんなが今でもアマチュア・オーケストラに在籍して音楽活動を続け、楽しんでいることに深い喜びを感じました。また、お子さんが北大オケに在籍していて、我々が演奏したベートーヴェンの第九交響曲に出演したという話を聞いて、時代は巡るんだなあ感慨深いものがありました。

帰りの飛行機の時間が近づき、オーケストラの仲間と名残惜しいお別れのときがやってきました。集まってくれたみんなが全員で札幌駅の改札口まで見送りに来て、改札越しに熱烈に手を振って別れを惜しんでくれました。本当に久しぶりの札幌、短い時間でしたが仲間たちとの再会、母校の訪問、愛する札幌の街の散策、やはり札幌は自分の第二の故郷なんだとあらためて実感した旅でした。